

# CUBE HOUSE

店舗は北側ファサード全面にわたるサイン。  
住居はスリット状の吹抜けテラスが特徴です。

サインの間接照明は電球の交換のことも考慮して、  
より寿命の長いLEDの使用を考えています。

他にも、敷地内の所々に配した植栽  
(浄化槽などの見せたくないものは植栽の陰に隠れるように配置します)  
ガラス張りの待合室で、外からもアイストップとなる装飾壁など

駐車場やアプローチから待合までの空間も楽しめる、  
地域の顔ともなるような空間を作りたいと思います。

## ■ 建築概要

敷地面積	258㎡
建ぺい率	60%
容積率	200%
用途地域など	第二種中高層住居専用地域
建築可能面積	154.8㎡
可能延べ床面積	516㎡
構造・規模	木造・地上3階
建築面積	95.23㎡/28.87坪
1F床面積	71.22㎡/21.58坪
2F床面積	70.39㎡/16.06坪
3F床面積	48.44㎡/14.68坪
延べ床面積	190.05㎡/57.59坪
テラス面積	24.84㎡/7.53坪

スリット状のテラスで外壁の仕上げが  
切り替わります

仕上材の艶のありなしなどで曖昧な  
文字が浮かび上がります。

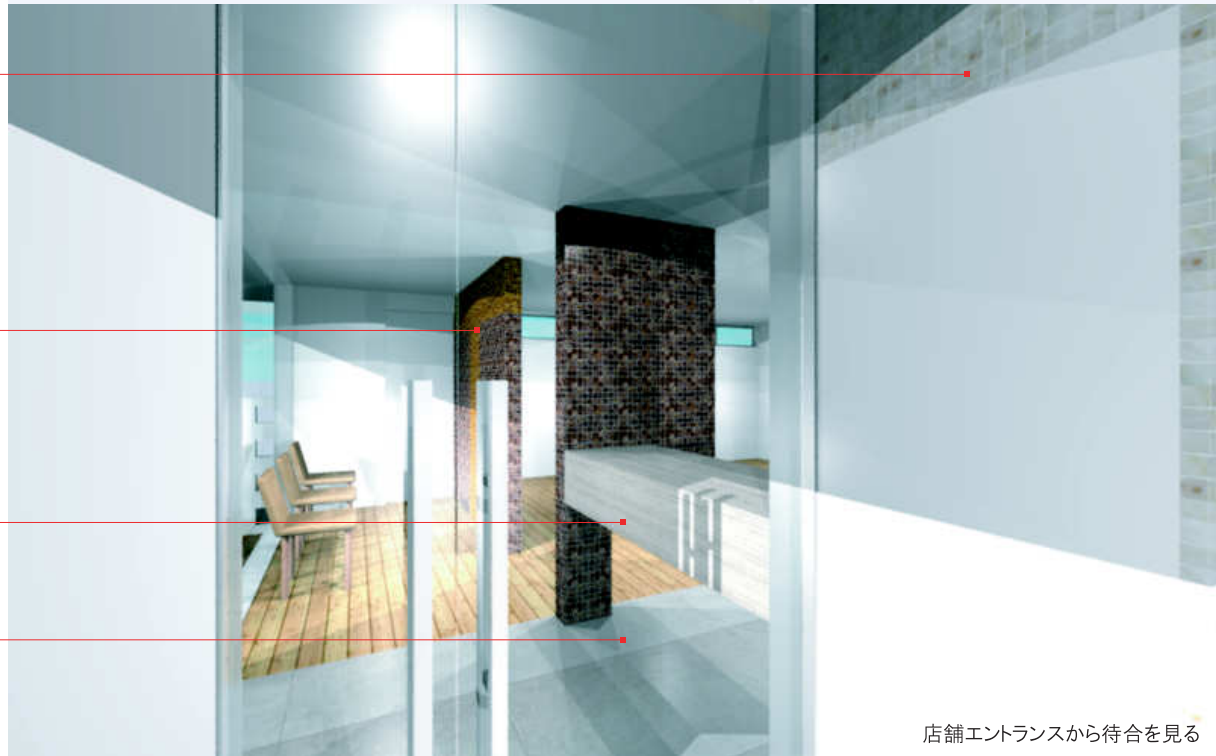
ポイントとなる装飾壁

重量感のあるカウンターが浮いている  
イメージです

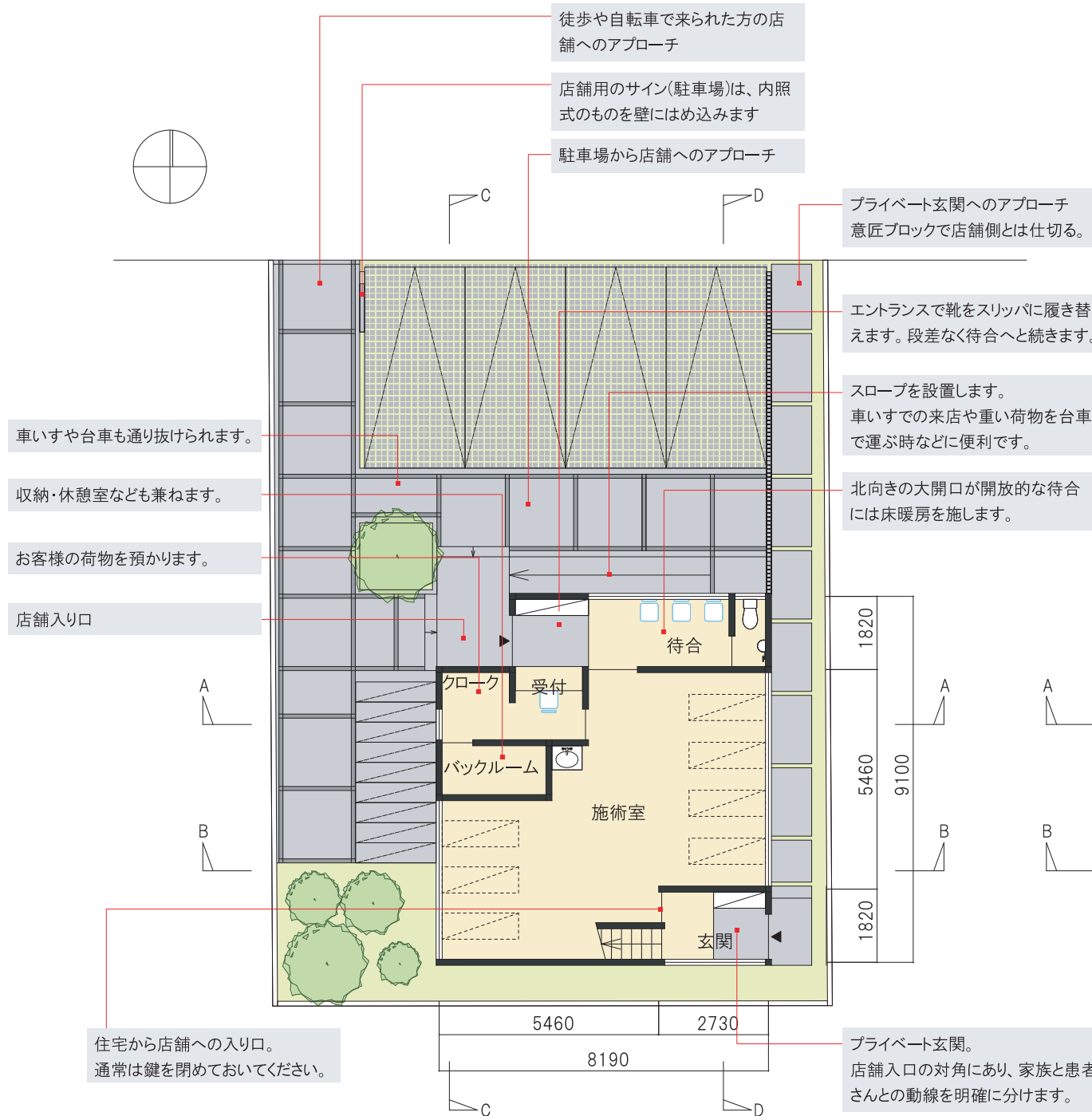
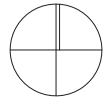
ミラー仕上げで奥行きと浮遊感を出す



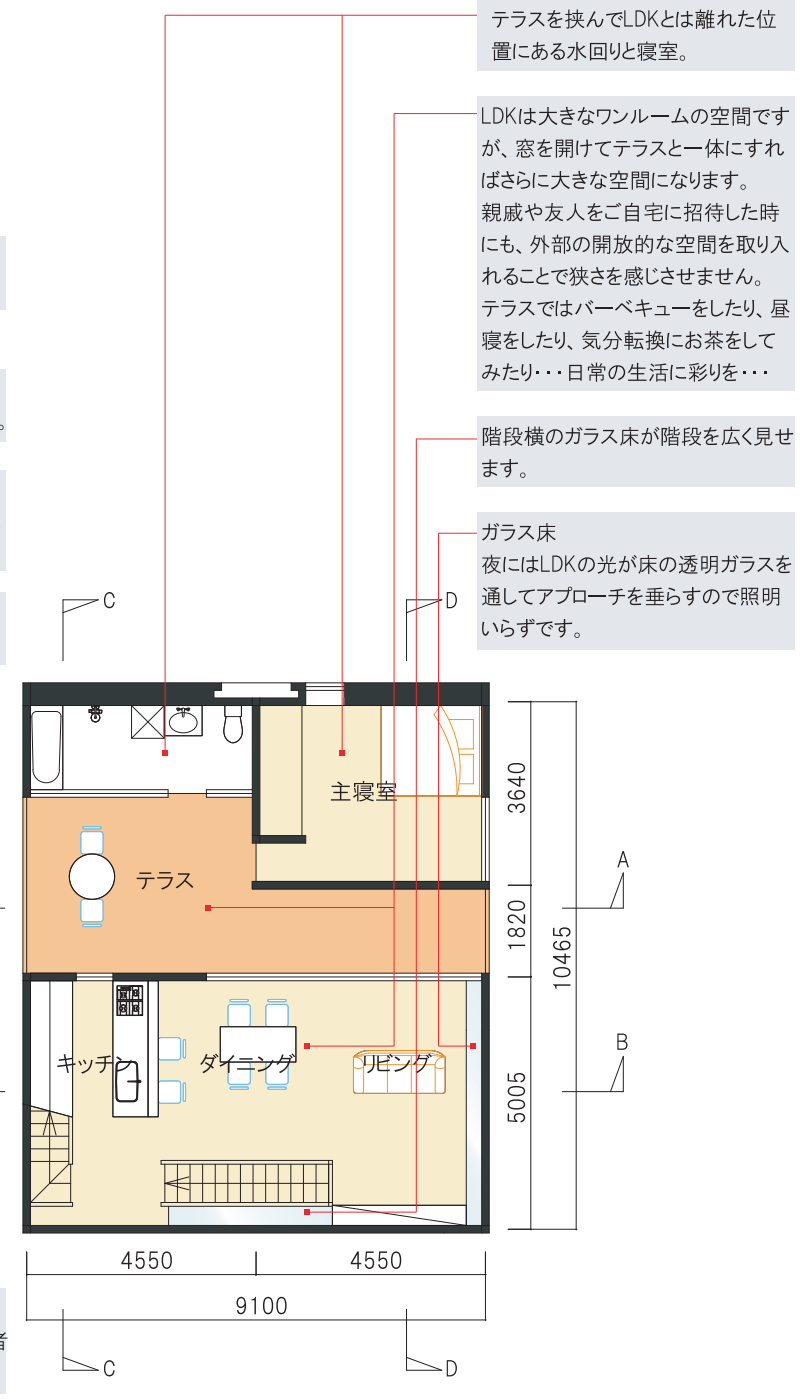
前面道路からの外観



店舗エントランスから待合を見る



配置図兼1F平面図 S,1:150



2F平面図 S,1:150

可動家具によって空間を間仕切ります。  
 子供さんが1人のうちは半分を収納などに使い、  
 1人増えれば子供室を2室に分け、  
 さらに成長に合わせて間仕切り壁を作ることができます。

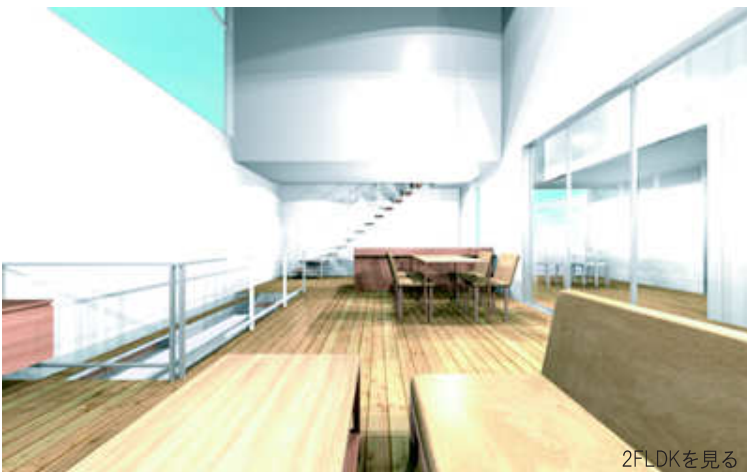
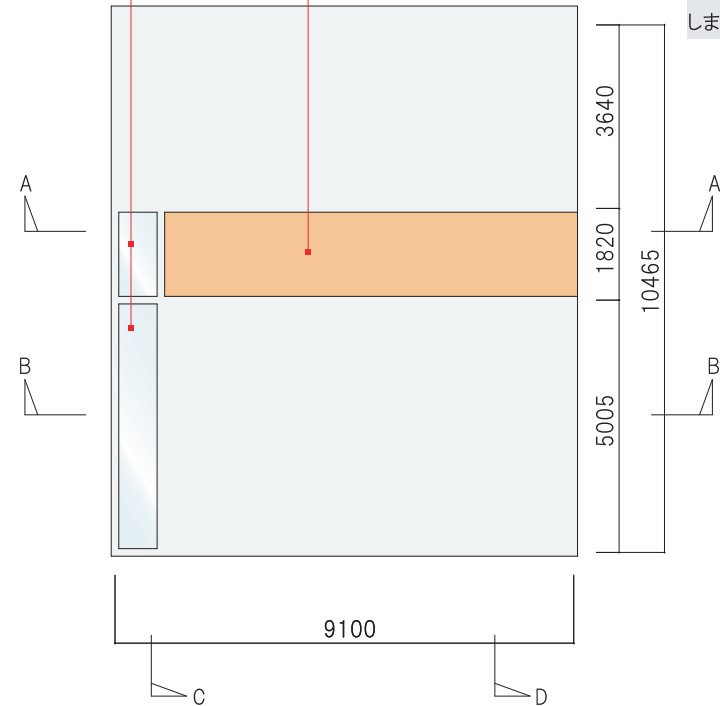
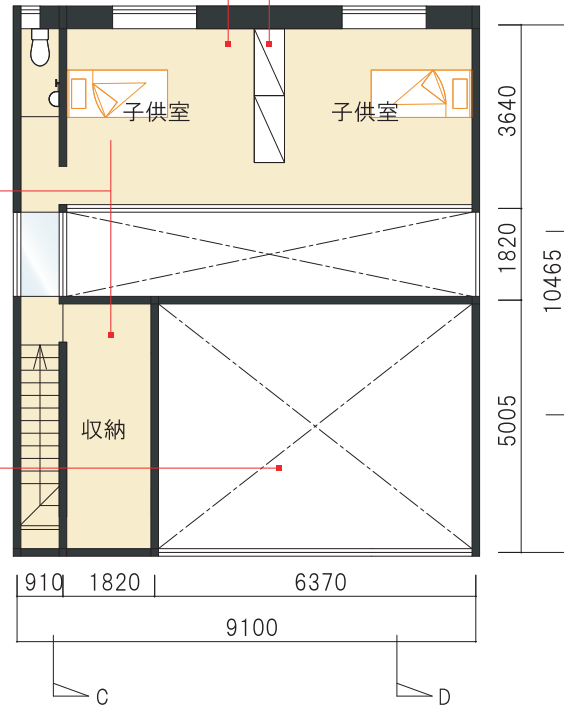
キッチン上部に収納を作ります。

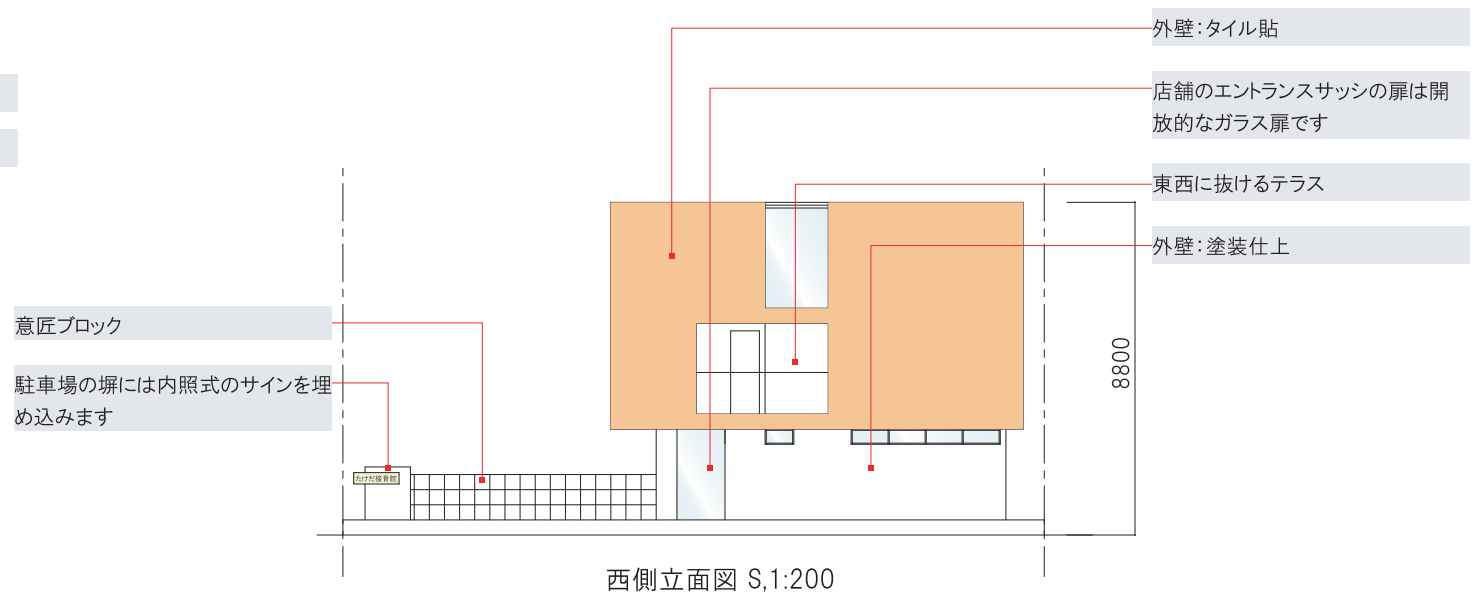
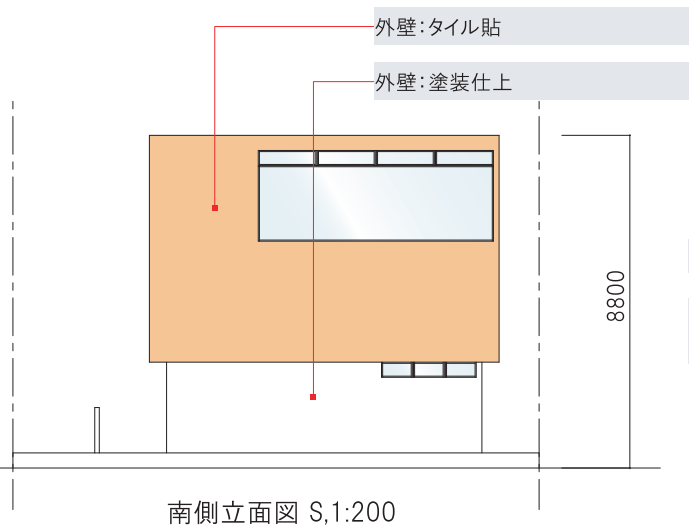
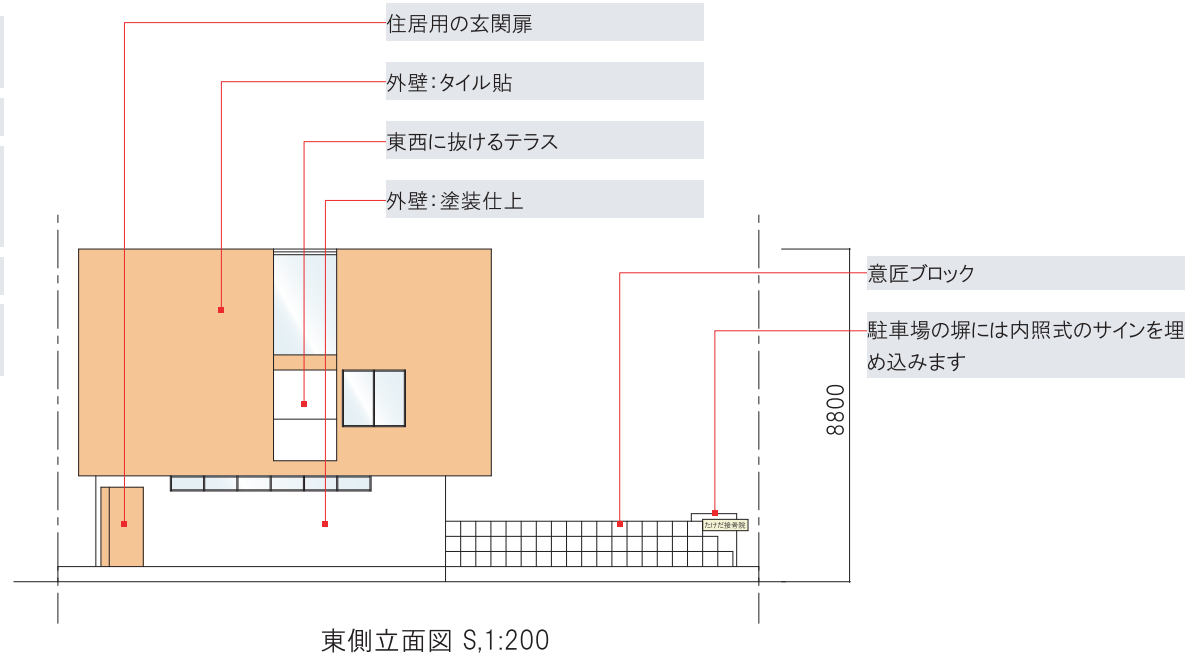
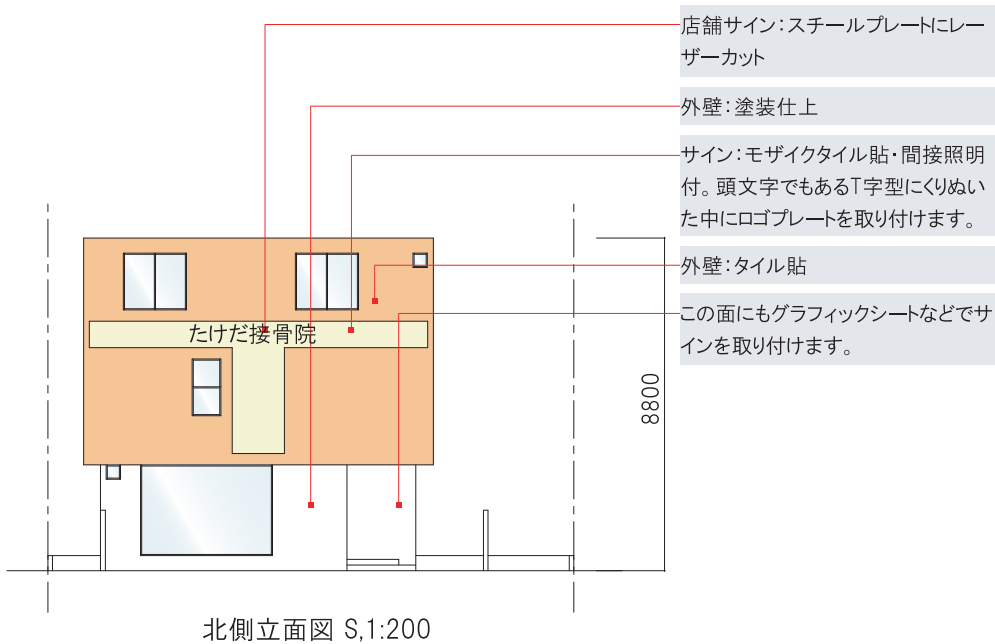
リビング・ダイニング上部の吹抜け

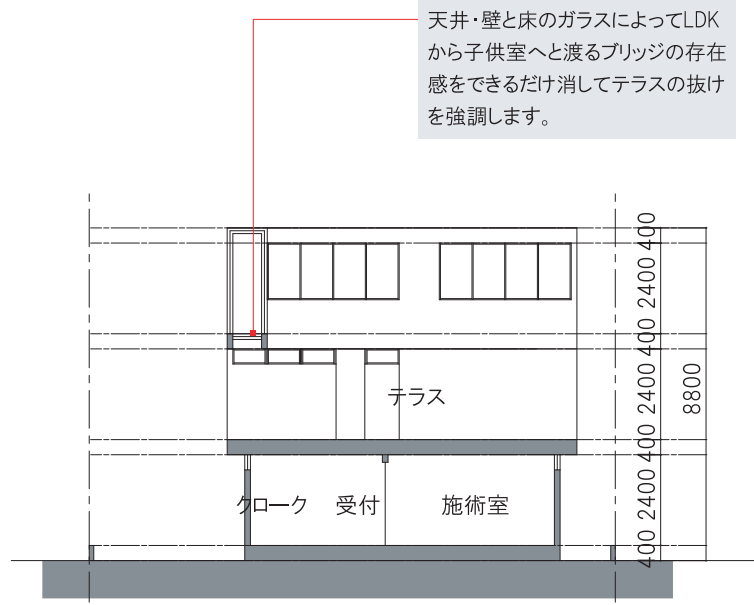
キャスター付可動家具

ブリッジ・階段のトップライト

住居を二つに分けるスリット状の吹抜けテラスが住居内に自然をもたらします。

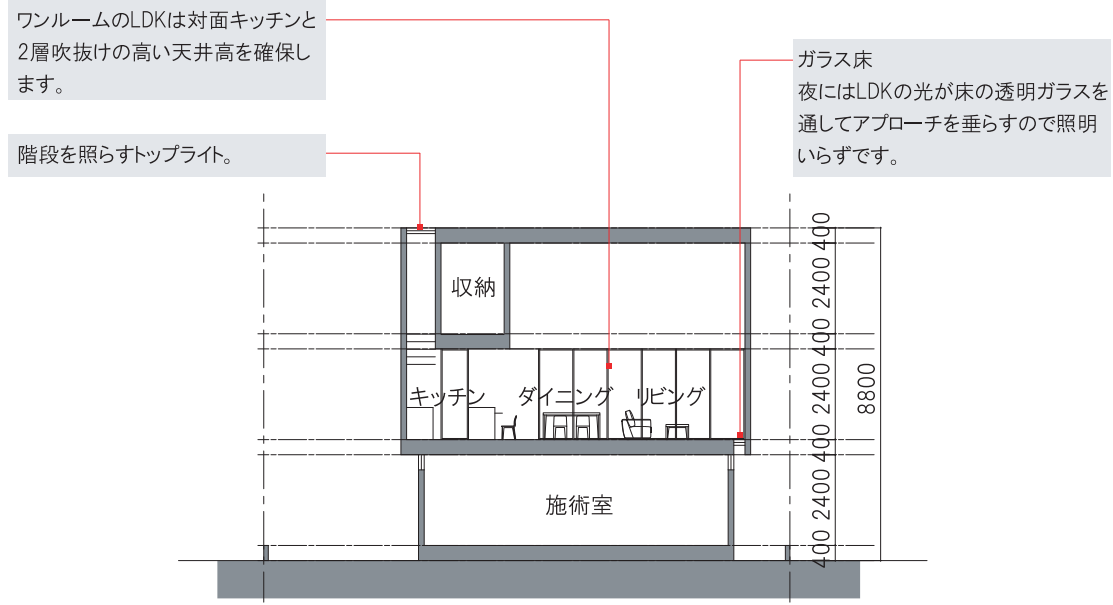






A断面図 S,1:200

天井・壁と床のガラスによってLDKから子供室へと渡るブリッジの存在感をできるだけ消してテラスの抜けを強調します。

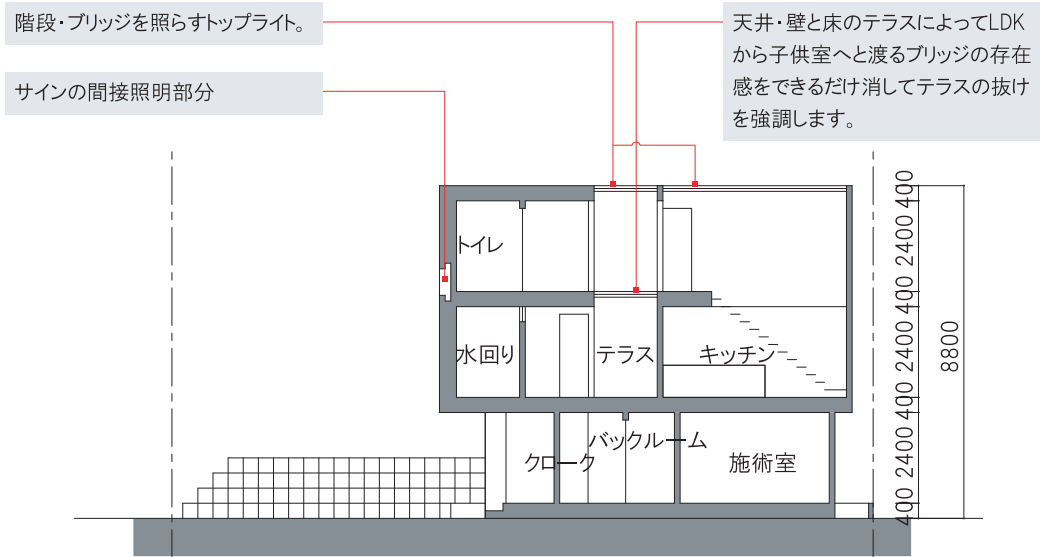


B断面図 S,1:200

ワンルームのLDKは対面キッチンと2層吹抜けの高い天井高を確保します。

階段を照らすトップライト。

ガラス床  
夜にはLDKの光が床の透明ガラスを通してアプローチを垂らすので照明いらずです。

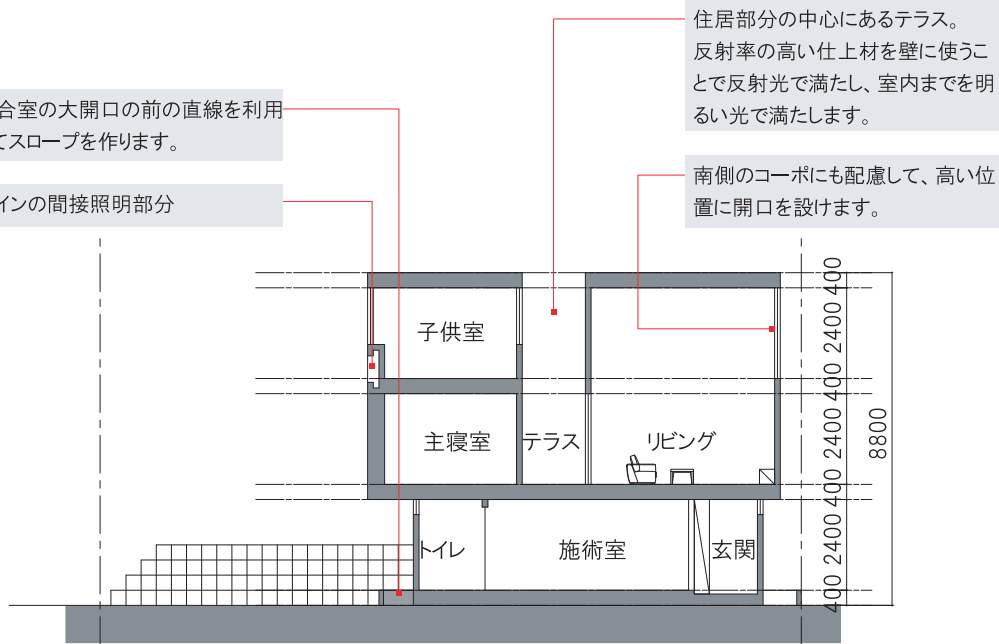


C断面図 S,1:200

階段・ブリッジを照らすトップライト。

サインの間接照明部分

天井・壁と床のテラスによってLDKから子供室へと渡るブリッジの存在感をできるだけ消してテラスの抜けを強調します。



D断面図 S,1:200

待合室の大開口の前の直線を利用してスロープを作ります。

サインの間接照明部分

住居部分の中心にあるテラス。反射率の高い仕上材を壁に使うことで反射光で満たし、室内までを明るい光で満たします。

南側のコーポにも配慮して、高い位置に開口を設けます。